JR宇都宮駅西口周辺 景観づくり通信

vol.8
発行
令和8年10月

● 第6回 JR 宇都宮駅西口周辺景観づくり推進協議会を開催しました。

ＪＲ宇都宮駅西口周辺の良好な景観の形成に向け，「ＪＲ宇都宮駅西口周辺景観づくり推進協議会」を令和８年１０月８日に開催しましたので，会議での検討の状況をお知らせさせていただきます。

第6回JR宇都宮駅西口周辺景観づくり推進協議会の内容

掲載
ホームページ

「第6回JR宇都宮駅西口周辺景観づくり推進協議会」では，第5回の協議会で議論いただきました「景観形成の目標」や「景観形成の基本方針」を実現するために，建築物や工作物・屋外広告物を建設などを行う際に配慮してもらいたい事項について，事務局（案）を提示させていただき，委員の皆様より御意見を頂きました。

次回の会議では，12月に予定している大学生によるワークショップの結果や修正した配慮事項（案）について，引き続き，協議していくことになりました。

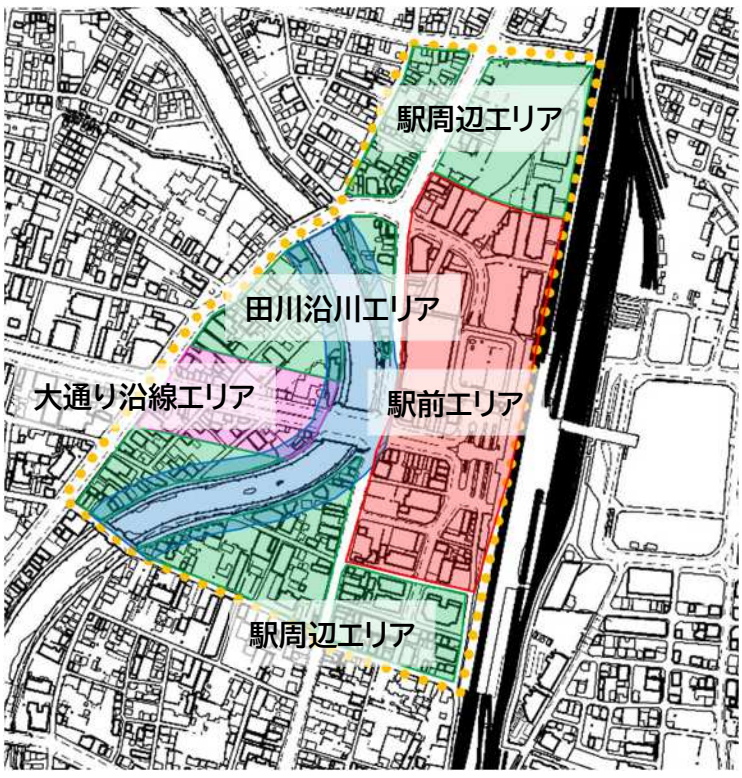
日　時：令和8年10月8日（木）
　　18：00～19：30
場　所：宇都宮市役所　14D 会議室　14階
参加者：13名（地元代表，事業者，行政団体）

☆　第6回協議会　次第　★

【協議事項】
1　景観づくり指針について
　⑴　建築物・工作物・屋外広告物の配慮事項（案）
2　ワークショップについて
3　次回のスケジュールついて

〈JR宇都宮駅西口周辺地区景観づくり推進協議会〉

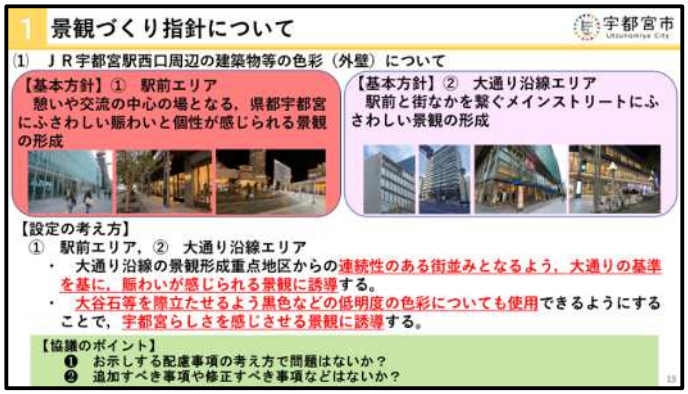
【対象エリア】

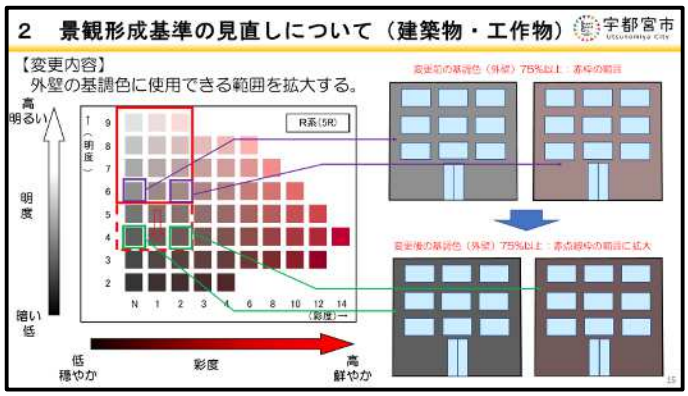


【景観形成の目標】
県都の玄関口にふさわしい風格と秩序を備えた魅力ある景観の形成

【景観形成の基本方針】
（全体）
・宇都宮の顔にふさわしい美しく魅力的な景観の形成
・水と緑による潤いのある景観の形成
・宇都宮の歴史や文化を活かした落ち着きと風格ある景観の創出
（駅前）
・憩いや交流の中心の場となる，県都宇都宮にふさわしい賑わいと個性が感じられる景観の形成
（大通り沿線）
・駅前と街なかを繋ぐメインストリートにふさわしい景観の形成
（田川沿川）
・季節を感じられる水辺を活かした歩いて楽しい景観の形成
（駅周辺）
・通りの賑わいや市民の生活が感じられる落ち着きのある景観の形成

【検討内容】建築物等の配慮事項(案)









【会議での主な意見】

・B街区の建物や広告物についても，今回の基準が適用されるか。
⇒ 計画時に事前協議制度に中で，都心部の手引きに則った基準に誘導している。
・セットバックは，小規模な建築物が建築される際にどうするかが問題である。
⇒ 事務局としても課題認識はある。
・セットバック部分に，カフェがテーブルや椅子を出すとこはできるか。
⇒ セットバック部分の使い方については，歩行者空間に限定するものではない。ただし，固定するような工作物など物理的な制約があるものは避ける。
・セットバックはエリア全体の話か。
⇒ 基本的にはエリア全体で考えているが，一定の歩行者が見込める主要道路のみを義務にし，その他は努力義務で誘導するなどメリハリをつけることも検討している。
・壁面後退については，強弱が必要であると考える。
・セットバックした空間は，ゲリラ豪雨時の一時的な避難場所として，開放的な空間は必要である。
・住宅の建て替えの際に，グレー，茶系，クリーム系しか使用できないと言われたが，基準はいきているのか。
⇒ 大規模建築物の色彩の基準で誘導を図っている。
・今後は使用できる色彩が増えるのか。
⇒ 場所にもよるが，鮮やかな色彩については制限した基準としていきたい。
・企業のコンセプトカラーはどうなるか。
⇒ 基本的に鮮やかな色彩については，アクセント(5%)の範囲で使用できるよう誘導していく。
・緑を増やすことには賛成だが，管理が課題である。
・南大通りの角地にあるデジサイは目立ちすぎている。規制には照度が効果的であると考える。
・袖看板は無くした方が通りの見え方としては良くなると考える。
・緑化については，地上でやるのか，壁面でやるのかを含め，緩和策を検討できると良い。
・道頓堀みたいな街も異質な空間で面白いと思うが，宇都宮にはそぐわないと考える。デジサイ関連で昼と夜で照度の基準はあるか。
⇒ ガイドラインで誘導している自治体もある。
・デジサイについて，駅前ロータリー等の歩行者中心のエリアであれば，明るくても困る人は少ないと思うが，交通量が多い大通りでは，問題になる可能性がある。
⇒ 基準については，強弱をつけていきたいと考えている。ショーウィンドウの照度についても，今後，相談させていただく。

問い合わせ先 宇都宮市 都市整備部 景観みどり課 都市景観グループ
担当:梁木(やなき)，村松
電話 028-632-2568 FAX 028-632-5421
Mail u55002100@city.utsunomiya.tochigi.jp